

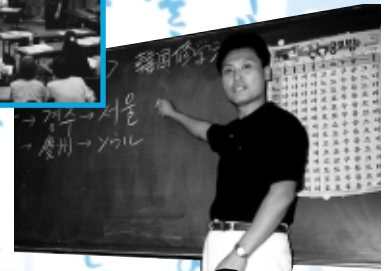


## 特集

# 隣国のことばに 魅せられた 教師と生徒たち

## 高等学校における 韓国朝鮮語の授業実践

去る8月18日から20日まで、東京都八王子市で2泊3日にわたって第3回高等学校韓国語教師研修会が開催され、高校教員ほか65名が参加しました。1998年度より毎夏、駐日韓国文化院と国際文化フォーラムが協力して開催してきた研修会ですが、今回は、昨年発足した高等学校韓国朝鮮語教育ネットワークが実質的な運営にあたり、全国および地域レベルにおけるネットワークの広がりを参加者に印象づけました。18日には、国際交流基金日本語国際センターで日本語研修を受けていた韓国の高校の日本語教師45名も参加し、日本の教師と交流しました。本特集では、ネットワークが作成した韓国朝鮮語の教師によるさまざまな取り組みの記録を紹介しながら、日本の高校で現在どのような授業が行われているのかを伝えたいと思います。



## シリーズ

ことばは楽しい⑩ p.8  
チベット語

見る聞く考えるやってみる授業⑩ p.10  
日本語の授業に文化を取り入れて

素顔の高校生⑤ p.16  
お互いの存在を大切にしている  
様子が伝わってきて感動した。

## TJFの事業 p.12

研修生の熱意に講師も感動  
第1回内蒙古自治区中高校日本語教師研修会  
がついに実現

「第3回日本語の授業  
アイデアコンテスト」作品集完成

## 事業報告 (2000年7・8・9月) p.14

TJFネットだより p.15  
日本の紙芝居、アメリカの紙芝居

# 高校教育のなかの韓国朝鮮語

高等学校の韓国朝鮮語教育は、学習指導要領上とくに明示された規定はなく、「その他の外国語に関する科目」として設置が認められているにすぎません。そのため、学習内容の基準もなく、教師は教材の不足に悩み、また、研修の機会も得られないまま、講座の開設や運営にあたってきました。半面、それぞれの学校の教師（集団または個人）や地域社会の人々が創意工夫をこらし、ゆたかな教

育実践を積み重ねてきたともいえます。

現在高校現場で行われているさまざまな取り組みを紹介する前に、まずこれまでの日本の高校教育における韓国朝鮮語教育のあらましをふりかえておこうと思います。下の表は、1970年代から今日までに韓国朝鮮語教育を導入した学校の特徴を類型化して捉えようとしたものです。この表を参考に概要を理解していただければと思います。

## 高校教育のなかの韓国朝鮮語：導入の時期とたち

1970年代	人権教育型	兵庫県立湊川高等学校（定時制）：「部落研」「朝文研」などが結成され、人権運動が高まるなかで、教師集団が協議して朝鮮語（2・3・4年生の必修授業）を導入 [1973] 広島国際学院高等学校（元広島電機大学附属）：隣接する朝鮮高級学校の生徒とのトラブルをきっかけに、両校の教師集団が協力してチョソン語（2・3年生の必修選択授業）を導入 [1973]
1980年代以後	修学旅行・姉妹校交流型	山形城北女子高等学校：韓国の正義女子高等学校と姉妹校提携を結び（1986）韓国への修学旅行を実施する事前学習の一部として「韓国語」（2・3年生の自由選択授業）を導入 [1988] 熊本フェイス女学院高等学校：初めて韓国修学旅行（1987）を実施した後、韓国の東丘女子商業高等学校と姉妹校提携を結ぶとともに韓国語クラブを設置。2年後に必修授業として韓国語を導入 [1989-96]
	国際コース・国際学科型	熊本県立東稜高等学校：普通科国際コースの開設にあわせて、第二外国語として「朝鮮語」（各学年の必修選択）と中国語を導入 [1987] 岩手県立不来方高等学校：普通科外国語系英語コースの第二外国語として、中国語・フランス語・ドイツ語・スペイン語とともに「ハングル」を導入 [1989] 広島県立安芸府中高等学校：国際科の設置に伴い、英語以外の外国語を履修させることによって言語の多様性を認識させるため、中国語・フランス語・マレー語とともに「朝鮮語」を導入 [1994]
1990年代以後	単位制・総合学科型	神奈川県立神奈川総合高等学校：単位制高校として新たに開校し、第二外国語として近隣アジアの言語とともに「ハングル」（必修選択）を導入 [1995] 神奈川県立大師高等学校：総合学科への改編に伴い、国際理解教育の一環として外国語に「ハングル」を導入 [1998]
	学校主導型	佐賀県立唐津商業高等学校：韓国語を通じて隣国の文化・習慣について学び、「国際人」としての教養を身につけることを学習目標に「ハングル」（2年生必修、3年生自由選択）を導入 [1992] 東京都立葛西南高等学校定時制：新教育課程を検討するなかで、表現能力の育成、国際化社会への対応の一つとして、差別や偏見に囚われない国際理解促進を目標に「朝鮮語」を導入 [1995]
	個人開拓型	長野県立松本蟻ヶ崎高等学校：朝鮮語の免許状を持つ英語科教員の提案をもとに、学校の理解を得て「ハングル」（3年生の必修選択）を開講 [1996] 神奈川県横須賀市立商業高等学校定時制：全校生徒90名（1学年1クラス、4学年）の小規模校において商業科の課題研究として「ハングル」を開講 [1999]
	韓国語専門教育型	敦賀気比高等学校（福井県）：国際科ハングルコース（3年間で28単位、中国語コースもある）を開設 [1994-97]、98年度から普通科の選択授業（2・3年生の必修選択）に改編 関東国際高等学校（東京都）：外国語科に韓国語コース（3年間で18単位、中国語・ロシア語コースもある）を開設 [2000]

この表ならびに本文は、第3回高等学校韓国語教師研修会における山下誠氏（神奈川県立岸根高等学校）の発表をもとに編集しました。

日本の高校教育に初めて「朝鮮語」が導入されたのは1973年でした<sup>注</sup>。在日コリアンに対する差別の解消を図り、文化理解を促進する事業の一環として導入されたのです。80年代に入ると、韓国への修学旅行や韓国の高校との姉妹校提携が行われるようになったのを受けて、相互理解とコミュニケーションを進める手段として言語教育を実施するようになりました。

80年代後半に入ると、国際理解教育の必要性和生徒の多様化への対応が盛んに唱えられ、科目選択の拡大を図るとともに、多様な科目の一つとして韓国朝鮮語を導入するようになりました。学

校の組織改編に伴う場合も少なくありませんでした。

1990年以後は、学校の組織改編は行わずに、既存の体制のなかで学校あるいは個人（または複数の個人）が主導して導入した例も多く見られます。広い意味で、部分的改編ということもできます。

それぞれの時期に導入の特徴が見られるとはいえ、個々の授業では、時間数や履修形態、担当講師の立場などの要因が加わって、多様な実践が繰り広げられてきました。以下、何人かの教師の授業実践を具体的な授業記録を通して見ていきたいと思います。

注：金剛学園（大阪）は1951年度から「韓国語」教育を実施している。

# ことばを学んで 隣国の良きパートナーに。

兵庫県立湊川高等学校  
方政雄(朝鮮語)



公立高校のなかでは、最も古くから朝鮮語を必修正課の授業として取り入れてきた湊川で長年教壇に立ってきました。生徒たちには、朝鮮のことばを学ぶと同時に、そのことばがかかえもつ朝鮮の文化を正しく知ってもらい、21世紀に向けて隣国の良きパートナーとして共存していける担い手になってもらうことが、朝鮮語授業の大切な目的であると考えています。そのために私が心がけていることは、まず生徒と信頼関係を作ることです。そして日本と朝鮮の近代から現代にいたる関係史も、朝鮮語を交えながら語っています。かれらが卒業して実社会に出て「朝鮮」と出会う場面があったとき、朝鮮(人)に対して何の偏見もわだかまもなく、素直に接していけるようになっていたとき、私の朝鮮語授業は本当に成立したといえるだろうと思っています。

## 授業記録(1999年度1-3学期 / 3学年 / 2単位 / 35名)

### 学習の目標と評価

初めて朝鮮語に接した生徒と授業者との信頼関係が築かれることによって、生徒の朝鮮語に対する抵抗感が薄れ、授業に積極的に参加するようになった。

98年度は反切表のハングルと発音を中心に学習した。99年度は終声子音(パッチム)を含むハングルと、基本的な文型や日常会話も学び、朝鮮語の幅を広げようとした。同時に、朝鮮半島の文化や伝統、歴史等を日本との関連や比較で興味を喚起しながら伝えた。隣国を正しく理解し、善隣友好の担い手となるような人格を育みたいと思う。それが朝鮮語の授業成立の条件ともなっている。

### 教材

『朝鮮語入門』湊川高等学校朝鮮語科、『ハングルの基礎』新幹社、『これならわかる朝鮮語』白水社等を参考にした自主プリント教材

### 学習内容

#### 1学期

- ① ハングルと発音(1): 反切表の復習
- ② ハングルと発音(2): 終声子音(鼻音系)
- ③ ハングルと発音(3): 終声子音(促音系、舌側音系)
- ④ 朝鮮半島の文化(1): 姓名(五大姓、本貫制度、族譜、創氏改名など、朝鮮の伝統文化に関する単語を学ぶ)

- ⑤ ハングルと発音(応用): 民謡『アリラン』の発音と訳
- ⑥ 簡単な会話(1): 自己紹介、お礼、おわび、依頼など
- ⑦ 1学期のまとめ
- 2学期
- ⑧ 数詞: 漢数字と固有語の数字(お金、年月日、時間など)
- ⑨ 文法と基本文型(1): 体言語幹と助詞
- ⑩ 文法と基本文型(2): 指定詞、叙述文の終止形
- ⑪ 文法と基本文型(3): 指定詞、叙述文の終止形の応用(なぞなぞで興味を持たせながら、文章になしませる)
- ⑫ 朝鮮半島の文化(2): 食文化と食事の作法(トック、チヂミを作り、試食する)
- ⑬ 簡単な会話(2): 食事に関する会話
- ⑭ 2学期のまとめ
- 3学期
- ⑮ 朝鮮半島の文化(3): 朝鮮の正月行事(新年のあいさつ、ユンパで遊ぶ、日本の正月行事と比較しながら理解させる)
- ⑯ 文法と基本文型(4): 疑問形
- ⑰ 文法と基本文型(5): 否定形
- ⑱ 簡単な会話(3): 家族の紹介
- ⑲ 3学期のまとめ





# メール交換、姉妹校交流という 人的交流を通じて 国際交流の楽しさを。

鹿児島県立鹿児島東高等学校  
山下敏裕(国語・韓国語)



鹿児島東高等学校は1986年に全国で2番目に国際教養科を開設し、「中国語会話」を導入しました。私がこの学校に赴任して2年目の1997年に中国語以外の外国語導入の検討が始まりました。最終的に韓国語の導入が決まったのは、アジア語を重視しようという学校の考えと70年代前半から独学で学習を続けていた私の存在が重なったからでしょう。

学校の創立50周年記念式典に合わせて姉妹校づくりがスタートしました。人の紹介や交流の全くなかった学校をメールで探したことからはじめ、韓国の釜山近くにある金海伽耶(キムカヤ)高校との交流が実現しました。最初の年に交わしたメールの通信数は400通を超えます。しかもそのすべてが韓国語ですから、私自身ずいぶん勉強になりました。

中学校主催の「高校説明会」では韓国語を交え「国際交流がいかに楽しいか」を力説し、普通科の生徒たちの第二外国語を学習したいという声に応えて、普通科での第二外国語導入も提案しています。課せられた責任は大きいのですが、これからも生徒たちと楽しく韓国語を学んでいきたいと思っています。

## 私にとっての韓国、私にとっての韓国語！ 韓国語を選択している生徒の反応

次の文章は姉妹校を訪問する生徒が訪問前に書いたものです。

高校2年になり、第2外国語で韓国語の選択があることを知ったときは、迷わず選択しました。他の外国語に興味がなかったというわけではありません。ただ、韓国の友だちがいつも書く、あの奇妙な文字をどうやって読むのかとか、読めたらカッコいいとか、とても単純な考えで決めたのです。でも、その単純な考えで始めた韓国語は、いまはとても楽しい、大好きな教科になりました。

授業で着せてもらったチマチョゴリ、授業のなかで聞く韓国の習慣や文化、韓国の映画や歌番組など、日本にとって近い国なのに、けっこう文化に違いがあるんだなとか、歌や映画もとてもおもしろいなとか、いろいろな発見をしました。こういうことを知ると、実際に韓国を訪れてみたいと思うようになります。自分の目で韓国を見て、韓国の高校生のような生活、文化、習慣、ほんとうに毎日毎日キムチを食べているのか、どんな音楽が流行しているのかなど知りたいことはつきません。

もし韓国の高校に行き、交流し、韓国の家庭でホームステイができるのなら、こんなにうれしいことはありません。たくさんのことを自分の目で見て肌で感じるができるのですから。もっと韓国のことを知りたいし、私の家族や友人にも韓国について教えてあげたいし、韓国の高校生に日本のことをたくさん教えたいと思っています。私の好きな「音楽」について、韓国と日本の流行とか好きな歌手を教え合うことができればすごだろうと思います。私はキムチなど辛い物が大好きなので、本場のキムチや辛い物を食べてみたいです。

徳留有紀(3年生)

姉妹校である  
金海伽耶高校を  
訪問するため、  
韓国を訪れた  
立和田さん(右)と  
徳留さん(左)



初めて韓国語を勉強してみて、すごく楽しくて、とても興味深く思うようになりました。外国語といえば英語しか身近に浮かばなかった私が、こんなにも韓国語に夢中になったのは、先生が韓国の映画・テレビ番組などを授業の中で取りあつかってくれたからです。語学研修旅行でソウルに行ったり、韓国の飛行機に乗ったりして、韓国の人と片言の韓国語だけで会話をしたからです。

日本にとって韓国は隣の国なのに、あまり身近に感じていないのはおかしいと思います。韓国語には日本語と少し似たところがあるし、文化面でもすごく似ています。もっともっと、日本と韓国が身近に感じることをきたらなあと思います。

韓国がどんなところかまだまだ想像がつかないけれど、きっと私が期待している場所だと思います。韓国語は全然じょうずじゃないけれど、いままで勉強してきたことをもとにがんばります。私はいま進路に悩んでいて、韓国に留学するか、韓国語が勉強できるところに行くか、迷っています。もし韓国に行くことができれば、いま自分が迷っていることのヒント、答えがわかると思います。

立和田麻奈(3年生)



2年生の授業。テーブルが3つなのでぎゅうぎゅう詰め。声が届くように立ちっぱなしで大きな声を出すので、授業の後は気分爽快です。



3年生の授業。情報実習室のコンピュータでメールをチェックしたり、自作のソフトを動かしたり、10人を相手に立ったり、座ったりして授業します。



3年生の授業。いつも笑い声が絶えないのに、まじめに聞いています。後方右は中国引揚者子女の由美恵さん、昨年も一人男子がいました。

## 授業記録(2000年度1学期/2学年/2単位/18名・3学期/3学年/3単位/10名)

### 2学年

#### 学習の目標

- ① ハングルの読み書きがしっかりできるようにする
- ② 初歩的な実用会話ができるようにする
- ③ 韓国・朝鮮の文化・歴史などの初歩を学ぶ
- ④ ワープロで韓国語を書けるようにする
- ⑤ 姉妹校交流のために、メール交信などの基礎知識を学ぶ

#### 教材

『韓国語1』ハルム出版社、エッセンス日韓・韓日辞典(民衆書林)

#### 学習内容

4月はほとんどテキストを使わず、紙を切り抜き、母音・子音、パッチム(終声子音)などを扱った。この段階ではノートは開かせないで、ひたすら発音できるようにすることをねらった。これをひととおし終えて、改めてテキストの練習問題に入った。授業形態はネイティブとのチームティーチングである。今年度から来日半年の韓国人に替わったが、打ち合わせなどの時間が取れないこともあって、思い通りに進まないこともある。1学期は8課まで済ませた。

今度の2年生には実は次のような事情があった。1年次は「中国語会話」が必須である。2年次から韓仏西4か国語の選択必修になる。この1年次の「中国語会話」で担当教師・講師の指示を無視し勝手な行動をとる一団がいた。また、成績面で中国語の単位が認められなかった生徒もいた。これらの生徒をみな「韓国語会話」で受け入れることにした。「韓国語会話」が好きで希望した生徒が多くいたのももちろんである。

結果的に「韓国語が好きになった」という生徒がいる。一方で、不登校ぎみの生徒もあり、困っている。また留学から帰国した生徒が2学期から授業に出席するようになり、別班を作ってカナダから始め、希望する生徒も加えた。

本校は金海伽耶キメカヤ高校と姉妹校になっているが、金海伽耶高校側の受け入れ主体は2年生である。実際に交流をする場でどうしても辞典が必要なので辞典を購入させたが、1学期ではまだ使っていない。秋の文化祭に姉妹校から来校するかもしれないので、そのための準備もしたい。

### 3学年

#### 学習の目標(2学年と共通する項目を除く)

- ① 前年度をうけて、ハングルの読み書きに熟達させる
- ② 実用的な会話ができるようにする
- ③ 個人指導に徹する

#### 教材(2学年と共通)

#### 学習内容

3年にあがったとき「韓国語会話」を再度選択した生徒は、「優秀」な生徒

ばかりではなかった。「ほんとに受けるの? ついていけないかも知れないよ」と個人的にアドバイスした生徒もいたが、「がんばります」というので受け入れることにした。

2年次の授業数がその前年に比べて少なく、全体的に遅れていた。そのせいもあり1学期までに済ませたのはテキストの第13～22課だった(前年度の3年生は全25課を済ませていた)。また姉妹校金海伽耶高校を訪問する準備として、コンピュータ操作や電子メールの送受信の練習に時間をとられ、さらに上述のとおりネイティブとの意思疎通問題もあって、思うようには進まなかった。

急ぐには理由があった。ここ2年、夏休みに姉妹校に押しかける“押しかけ交流”を実施していたため、学習内容に一区切りをつけたかっただけである。全員に辞典を購入させたのも交流を念頭に置いてのことであった。2年の学年末試験には辞典を引くテストも作成した(韓・日・日・韓と単語を調べることで、ほとんどの生徒が辞典をすばやく引けるようになった)。

#### インターネット・トンアリ(クラブ)

5月上旬になると、金海伽耶高校への公式訪問が決定した。韓国語選択者と、金海伽耶高校の受け入れ主体となるインターネット・トンアリとのつながりをぜひ持たせたいと思い、Yahoo Koreaでメールアドレスを全員に取得させた。生徒全員の写真をメールで送付し、金海伽耶高校側からメールをくれるように依頼した。コンピュータの操作、ウィンドウズの使い方、ハングル・ワープロ、メールの送受信の仕方を2時間程度かけて練習した。ハングルで書く文字化けが多く発生したりして苦労した。訪問後も6月ごろまで、授業の初めに15分程度メールの確認作業を繰り返した。

授業の導入は歌の視聴で始めることが多い。4月の歌は「珍島物語」(韓国語版)にした。訳つきで聞かせたが、2番の歌詞に関連して南北分断と朝鮮の歴史にふれた。

教師の範読を生徒が繰り返すだけでは飽きることが多い。2人ずつ指名し、起立して会話をすると生き生きとした。テーブルを取り囲んで、ばらばらにペアをつくり、相手に一斉に言わせると、とても大きな声で会話するようになった。

期末考査には内容把握の問題を多く出した。短い会話をたくさん読ませて、その内容について質問を出した。100点をとった生徒も2人おり、みんな喜んでた。

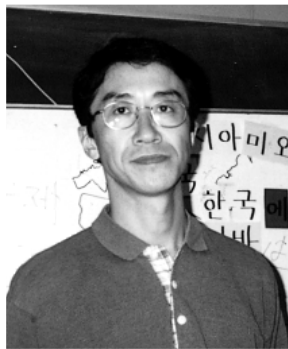
夏休みの宿題として、ビデオ「全国のだいもん上半期決戦」を見せて、その中で歌われていた歌の歌詞を与えた。準備ができないでいたら生徒の方から請求された。Clonの「初恋」などである。

選択者は韓国語が大好きだ。2人が韓国語の専門コースのある大学に進学を希望し、2人が韓国語を学べる大学に行きたいと言っている。春の「ハングル能力検定」5級を全員に受験させ、2人が合格した。



# 「文化」そのものである 「ことば」の学習は、 地理における文化学習の一環。

神奈川県立岸根高等学校  
山下誠(地理・歴史)



日頃人なつく明るい生徒が、授業で韓国・朝鮮に話題が及んだ際に、猛烈に反発して差別意識や蔑視感をあらわにしたり、無関心であったりすることがたいへん気にかかっていました。しかし、かれらは日本社会が、すなわち大人たちがこれまで在日朝鮮人を公然と迫害してきたことを肌で感じて知っていて、大人たちの矛盾を拡大して映しているに過ぎません。考えあぐねた末、ことばに触れることがひょっとしてかれらを変えるきっかけになるのではと思いたったのです。ことばの学習は本来外国語教育の分野ですが、言うまでもなくことばはその国の文化そのものであり、地理における文化学習の一環と位置づけることも可能です。日本語との共通点も多い韓国朝鮮語を学ぶということは新鮮な発見であり、発見の喜びは相手への尊敬につながる可能性を持っていると考えたのです。ことばに触れることは、身体の中、心の中からその国・民族を認識しようとするようになるのではないかと、そしてそれは、「俯瞰的作業」である地理教育を温かいによって補強することになるのではないかと考えています。

## 授業記録(2000年度1学期/3学年/2単位/6名)

### 学習の目標と評価

- ① 文字の学習より先に、あるいは並行しながら会話を学習する。文字を知らない段階なので、「耳」でことばを認識し、自然な発音と抑揚を習得できた。
- ② 会話練習では意味の説明を極力避け、直接法による指導を心がけた。状況を判断しながら、生徒が自力で意味を理解しようとするので、達成感もあり、定着もよい。
- ③ 会話練習の後、必ずテープに録音させた。韓国語を話すことに抵抗感がなくなったようだ。
- ④ ネイティブとの会話の機会を早い時期に設定したところ、会話に自信をもち、学習意欲が高まった。
- ⑤ ハングル文字の学習は、生徒の発想を引き出しながら、生徒自身にその仕組みを気づかせるようにした。その結果、こと細かに説明しなくても、短時間でハングルの読み書きができるようになった。
- ⑥ 単語練習には地名をつかい、地図もたびたび参照して、ことばの学習を楽しみながら、地理的認識を深めるように指導した。
- ⑦ 日本語の文法と対応させようとするあまり不自然な韓国語表現があった。
- ⑧ 後半は、学校行事の関係で十分に授業を進行させることができなかった。とくに、パッチムの学習に連続性を欠いたのは問題だった。

### 教材

『初めての韓国語』明石書店、ビデオなど

### 学習内容

4月 10日：自己紹介とともに、とくに各自の目標を話してもらった。/韓国に旅行して、メニューや看板が読めたらいい。韓国語の文章を読みたい。韓国人と話がしたい。文字からの学習と会話からの学習の二通りあるが、会話から始めると説明する。/17日：韓国語で出席を取り、韓国語で会話を。/19日・24日：会話/26日：(1)KBSのニュースを見ながら、KBSの「K」がどんな意味を持っているか考える。(2)韓国に行ってみよう！(韓国の地名をあげる)「武田鉄矢韓国旅日記」(ビデオ)を見せる。

以上4回は「私は誰々です」「誰々さんは、女です」「これは、何々です」「それは、何々です」「ここは、どこですか」というように、目にみえる題材をもちいて会話を試みた。「誰々さんは、男ですか」と質問して、理解したかどうか確認していく。その際、媒介言語は使わないようにしたが、結果は良好であった。5月 1日：(1)ハングルの学習 日本語の五十音から考える。(母音と子音の組み合わせについては前年のガイダンスで説明しており、生徒もよく憶えていた)(2)生徒

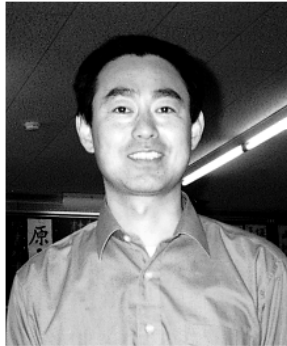
と教師計7人の名前をハングルで書き、生徒に当ててもらう 五十音表にあてはめる 空白を埋める。「や」行と「わ」以外は理解できた「や」行：山下の「や」から、「ゆ」「よ」を類推する。「わ」：ゆっぴり発音、「お」と「あ」の合成音であることを発見)/2日：(1)ハングルの学習：学校の近くにあるJR横浜線の駅の名をハングルで書いてみる 濁点などは無視して、近い音を探す。東神奈川、大口、菊名、新横浜、小机、鴨居(2「しんよこはま」の「ん」をどう書くか？ 生徒に尋ねる。(3)日本語をハングルで書いてみよう。書き表せないのは？「っ」をどう書くか？ 生徒のアイデアを聞いてみる。(4)日本語をハングルで書いてみよう(宿題)/8日：基本母音字10(日本語五十音にある音と、ない音を区別しながら、認識できるようにする)/10日：基本子音字10(同上)/15日：激音、濃音(平音と比較しながら認識させる)/22日：基本母音・子音字、激音、濃音の復習。生徒各自に、母音と子音のカードをもたせ、生徒はそれを組み合わせて他の生徒に提示し、お互いに読みあっていく。このワークを繰り返すことによって、字母の構成で音節を形成できるようになった。/24日：韓国のお客様が来校することを告げ、自己紹介で言ってみよう、聞いてみたいことを考える。/31日：KNTVドラマ「記憶の主人」を見ながら、これまでに習った会話を確認する。会話の語尾が、ほとんど[yo]であることに注目する。

6月 6日：自己紹介の練習。自分の趣味をなんと申すか？/12日：柳虎順さん(リュ・ホスン 韓国の京花(キョンファ)女子情報産業高校の日本語教師)が来校。柳さんが出演するNHK番組「日韓新時代」を上映し、韓国における日本文化に対する関心と歴史的な対日感情との葛藤について教える。松本蟻ヶ崎高校と京花女子情報産業高校との交流について説明しながら、柳さんを紹介する(『国際文化フォーラム通信』No.41参照)。練習してきた自己紹介を、生徒が言う。柳さんが生徒に聞く、生徒が柳さんに聞く、の3パターンを使って行う。/14日：自己紹介の感想を述べ、これからどうしたいかを確認。「自信がついた」「もっとしゃべりたい」「手紙を書きたい」まずは、文字の勉強をしっかりとやろう！/26日：パッチム[n]パッチムはなんとなく認識している。耳慣れた単語を使って、[m][ng]の違いを確認する。/28日：パッチム[r]。カルピなど、耳慣れた単語を例にする。

7月 18日：夏休みの課題「おもしろハングル探し」を説明。生徒の趣味に合わせた「韓国グッズ」例：歌の好きな生徒には音楽関係の雑誌などをわたして、そのなかから、おもしろそうなのは気になる単語や文章をみつけて、日本語にしてみる。それを2学期に発表してもらうことにする。

# 書道教育に現代的な グローバル感覚を 取り入れる。

長野県立明科高等学校  
太田剛(書道)



明科高等学校では「総合的な学習の時間」に関する研究はさほど進んでいませんが、以前から合科的学習を多く取り入れていました。今年はそれをさらに発展させ、芸術科書道における国際理解教育と位置付け「ハングル書道」を試みました。今日の書道は旧世代の専有物であり、ハイテクの現代には時代遅れだというような誤解を与えていますが、本来文字に関しては国際感覚が必要不可欠だと考えています。書道教育の中に現代的なグローバル感覚を導入することで、全く新しい芸術に再生するでしょうし、教育的効果が倍増すると思います。実際に筆で文字を書く実習は、本や映像以上に実践的な感覚を生徒に与え、出来あがった作品自体が国際交流の媒体ともなります。ハングルをあまり知らない高校生がハングルを筆で書くときに感じる、きわめて新鮮な感覚を得ることでしょう。それが歴史的にも地理的にも日本と最も密接な関係をもっている隣の国に対する見方を少しずつ変えていくことを期待しています。

## 授業記録(1999年度書道III / 1-3学年 / 2単位 / 180名)

### 学習の目標と評価

- ① 文字に対する視野を広げる
- ② 韓国文化の全体について関心を高める
- ③ 作品展示、交流を通じて、書の幅の広さ、韓国の魅力をアピールする

「総合的な学習の時間」の一部として、1999年度から書道の授業4時間を使ってハングル書道に取り組んでいる。2000年度に入って、韓国ソウルにある龍文(ユンモン)高等学校の生徒との間で作品の交流を開始した。歴史・料理・映像など、さまざまな要素を取り入れたこともあり、予想以上に生徒の反応はよく、ハングル書道だけでなく、韓国文化全般に興味を持ったようだ。世界の書道や文字について考える生徒が出てきたことがうれしかった。4時間の授業なので、語学的な説明には限界がある。すでに韓国語の講座がある学校では、その教員と協力して、いろいろなことができると思う。ぜひ試していただきたい。

### 教材

韓国の初等学校3-6年生の美術教科書や市販のハングル書芸教材から抜粋して作成。

### 学習内容

- 第1時 ハングルの歴史についてビデオを見る。/(ハングル文字の基礎構造についてプリントで学ぶ。/日本のカナとハングルとの対照表を見て、自分の名前をハングルで書く(鉛筆)。/韓国のスライドを見る。/ハングル書道の作品を映像で見る。
- 第2時 宮体正字の基本点画を練習。漢字の楷書とほとんど同じ。円形の(イウ)の書き方を取り出し練習する。/範書の後、半紙に「プリンサン マルゲムル」を書く。/提出した作品を黒板に貼る。鑑賞(第3・4時も同様)。
- 第3時 韓国料理の話聞く。/韓国のことわざを宮体正字で書く。プリントの活字が手本。大きな紙(4種類用意)に作品を作る。たてよ自由。
- 第4時 「トラフヨ プサンハニエ」の歌を韓国語で聞く。/版本体の基本点画を練習する。/プリントの資料を使って創作的臨書をする。

### 生徒の感想から

- 漢字とハングルの混合させられることに驚いた。日本の漢字とカナの関係に似ている。書道展の作品も日本と変わらず、いろいろなデザインで書かれている。文字は違って、気持ちとやっていることは同じように思えた。
- 隣の国なのに、(自分を含めて)日本人は韓国のことを全然知らないんだなあと思った。アメリカや西洋の方がいい顔をしていないで、日本はアジアとの結びつきを深めなくてはならないと思う。
- ハングルから世界や社会まで見ていくという話がおもしろかった。文字を通して世界を見ていけそうだ。
- 日本語を書くより書きやすい。韓国に行った気分だ。
- (ハングルは)ミステリアスな文字でかわい。宇宙文字みたい。書きやすくてステキ。
- 韓国語に興味があったけど、勉強する機会がなかったし、簡単だと侮っていた。授業でハングルの接して、なかなか書くことができて苦勞した。スラスラと書けたら読めたりする人たちが、とてもすばらしく見えた。いつかマスターして、韓国の地を踏みめたい。もっと勉強してみたい。
- 意味や読み方がわからないと、メチャクチャな字に見えたけど、読み方やしみがわかると、親しみやすくなった。韓国が近くなった気がする。
- を書くのがむずかしかったが、形のバランスなどうまくいった。他の国の文字を書いたりするのは楽しい。文化を知るのはとても勉強になる。文字のほかにも勉強してみたい。



熱心に作品制作に取り組む生徒たち。

できあがった生徒のハングル書道の作品。授業後は教室の掲示板上に掲示します。

